

教育長	教育部長	課長	指導主事	課長補佐	主査	係	保存区分
							永・10 5・1

令和6年度第1回大口町総合教育会議

令和6年12月19日

午後 1時30分 開議

大口町役場3階 第5委員会室

1 開会

2 町長挨拶

3 教育長挨拶

4 協議事項

(1) 大口町教育大綱について

(2) 図書館について

5 その他

6 閉会

構成員

町長 鈴木 雅博
教育長職務代理者 鈴村 由布子
教育委員 舟橋 由治

教育長 長屋 孝成
教育委員 水谷 恵子
教育委員 丹羽 力也

町長部局

総務部長 水野 真澄

政策推進課長 稲垣 敬

教育委員会

生涯教育部長 松井宏之
図書館長 鈴木加代子

学校教育課長 岩田雄治

(午後 1時27分)

1. 開会

○稻垣政策推進課長 皆さん、こんにちは。

本日は大変お忙しい中、大口町総合教育会議に御出席賜りまして、誠にありがとうございます。

それでは、定刻となりましたので令和6年度大口町総合教育会議を開催いたします。

私は、政策推進課の稻垣と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

では、着座にて失礼いたします。

初めにお手元の資料の確認をお願いします。

1枚目に次第がございます。その次が出席者名簿、次に大口町教育大綱、冊子になっております。それから、最後に図書館の関係資料ということで、この4点になりますが、資料に不足等がございましたらお知らせをいただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

では、始めさせていただきます。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定によりまして、原則公開となっております。また、会議の開催に当たりましては、事前に町ホームページにおきまして会議の開催を公表し、傍聴の希望者を募りましたが、本日、傍聴を希望される方はございませんでしたので御報告をいたします。

2. 町長挨拶

○稻垣政策推進課長 それでは、開会に当たり、鈴木町長から御挨拶申し上げます。

○鈴木町長 皆さん、こんにちは。

大変お忙しい中、教育委員の皆様には大口町総合教育会議に御出席を賜りまして、ありがとうございます。また、日頃から本町の教育行政に多大なる御尽力を賜っておりますことを心から感謝を申し上げる次第でございます。

さて、御承知のとおり、この総合教育会議につきましては、平成27年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により教育委員会制度の見直しが行われ、設置をしているものでございます。

そして、総合教育会議は町部局と教育部局の話し合いというのか、今後のいわゆる教育行政をどうしていくのかというような話をさせていただく場として、ぜひ教育委員の皆さん方や教育長をはじめ、町長部局の幹部の皆さんといろんな意味で意見を交換しながら、やっぱり今後の変わり行くであろう教育行政をどう進めていくかということも考えていかなければならないの

と、やっぱりその辺りにあるいろんな諸問題や、そして変えなければならないいろんなものを事前に皆さんと話し合いをしていく場というふうに認識をしておる次第であります。

ぜひ、今日は皆さん方から忌憚のない御意見をいただきながら話を進めてまいりたいというふうに思っておりますので、何とぞ御協力賜りますよう心からお願ひを申し上げて、簡単でございますが御挨拶に代えさせていただきます。

よろしくお願ひを申し上げます。

○稻垣政策推進課長 ありがとうございました。

3. 教育長挨拶

○稻垣政策推進課長 続きまして、教育委員会を代表いたしまして長屋教育長から挨拶を頂戴したいと存じます。

よろしくお願ひします。

○長屋教育長 改めまして、こんにちは。

いよいよ、令和6年も差し迫ってきました。

この時期になりますと、私、いつも歌の文句を思い出すんです。どういう歌かといいますと、シクラメンのかほり。歌は上手ではありませんけど、そのフレーズの中に、疲れを知らない子どもたち、時が2人を追いかけていくという、ここはまさに本当に私もそういう心情になりました、ああ、今年ももう過ぎ去る、そんな中で1年間何をやってきたんだろうかなということを焦ることがあるわけですが、委員の皆さん、そんなことないでしょうか。

大口町は、特に子供に関することに關しまして、今朝も、今日の議会でも町長の挨拶の中にありましたように、大人の部、それから中学生の部で駅伝大会があって、大口町は大変すばらしい記録を、業績を残したということで、本当に子供たちの頑張りの中で教えられたことが一つあります、諦めないということですね。

大口のチームだけじゃなくどのチームもですけれども、最後の最後まで手を抜かずというか、足を抜かずというか、頑張って完走をしている。ああいう姿を見て、やっぱり諦めないで最後までそれぞれが持つ力を發揮することが大事だなということを教えられた、そんな視察といいますか、応援がありました。

また、これらの2つの事案ともそうですけれども、大口町の方に勇気あるいは元気を与えたのではないかということで、大変喜んでおる次第であります。

今日は、1年に1回か2回の町長との懇談ということであります、大口の子供は大口で育てる、大口の子供は大口で育つということを町長はよく口にされているわけでありますが、まさにこの件に向けて今日は生涯学習のうちの図書館という面から議論ができたらいいなと思つ

ておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○稻垣政策推進課長 ありがとうございました。

4. 協議事項

○稻垣政策推進課長 それでは、協議事項に入ります。

議長は、大口町総合教育会議運営規程第3条に会議の議事進行は町長が行うとなっておりますので、町長にお願いしたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

○鈴木町長 はい。ということで私が議長ということでございますので、早速ですが第1としまして、協議事項の第1番で大口町教育大綱について御説明を願いたいと思います。

○稻垣政策推進課長 失礼いたします。

まずもって、この大口町教育大綱についての議題につきましては、当初、次第のその他のところで行う予定でございましたが、その後、協議事項として繰り上げて御説明をすることに変更させていただきました。つきましては、10月31日付で通知をさせていただきました文書に追記ということになってございます。申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願ひいたします。

では、大口町教育大綱についてでありますが、冊子の3ページ上段をお開きいただきたいと思います。

この3ページ上段に大綱の期間というのがうたってございますが、私ども読み返しておりましたら、本大綱の終期、終わりの期限が2020年度末、令和2年度末ということで期限切れの状態になっておりましたので、まずもってこのことにつきましておわびを申し上げたいと思います。

そこで、この期間についてでありますが、大綱の作成時には第7次大口町総合計画に合わせた形で期間を示してございましたが、私ども種々調べますと、大綱が対象とする期間につきましては特段法律では定めがあるわけではないというようなことが分かりました。

さらには、法律、教育基本法になりますが、この部分が変わらない限り永続的に続くものであるというふうに考えられますので、あえて期間設定をする必要もないのではないかというふうに事務局では考えております。

つきましては、ここの部分を削除しても何ら問題が生じませんので、期間のこの部分を削除することの提案をさせていただきたいと思います。

採決のほどをどうぞよろしくお願ひいたします。

○鈴木町長 今、事務局からお話がありましたように、大綱に記述が要るのかということあります。

僕も個人的に言うなら、大綱というから子供たちのための教育の話し合いを持つ場というか、

その大綱の中で期日を決める必要性というのは全くないというふうに、私は1人の委員としてはそう思っておりますので、これについて皆さん方に御意見があるようであればお受けして、またここの中で話し合いをさせていただきます。

誰か、期日があったほうがいいとおっしゃる方はお見えになりますでしょうか。

なしでよろしいですか、期日は。

よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木町長 じゃあ、委員全員の賛成の下で、大綱には期日を設けず永続的にというか、何かあったときに関しては、先ほど事務局からお話があったように、何でしたっけ、法律が変わったとかそういうことがない限り大綱に期日を入れるという期日の法律ができた時点では考えますが、それ以後、それもそれまでの間は期日なしということで進めさせていただきますので、訂正のほうをよろしくお願ひ申し上げて、委員全員の賛成の下でという項目を入れておいていただければいいのではないのかなと思いますので、よろしくお願ひをいたします。

御協力いただきまして、ありがとうございます。

では、続きまして協議事項、先ほど教育長から図書館についてということで発言がございましたように、今回は図書館についてを皆さんとお話しを持っていきたいと思っています。

早速ですが、事務局のほうから図書館についての説明をしていただけるとありがたいと思います。よろしくお願ひをいたします。

○鈴木図書館長 図書館長の鈴木が説明させていただきます。

着座にてお願ひいたします。

まず、こちらのほう、現在の図書館の取組状況について簡単に説明させていただきます。

現在の図書館については、利用の少ない10代の本離れが課題であったんですけども、こちらのほうは人気のあるライトノベル小説の蔵書を増やしたことによって、またライトノベルのコーナーをロビーに変更しました。その結果ですけれども、高校生世代の利用を増加させることができました。

ほかにもお子さん、幼少期から図書館で本を借りて読む習慣をつけるために、小学生以下の利用者を対象にスタンプカード制度というものを導入いたしました。その結果、令和5年度1年間でスタンプの満了者、20回来るということなんんですけど、こちらが89名、小学生以下の年間利用者も500名程度増加しました。

課題であった本を借りる習慣という点では、目的の効果が出たんじゃないかと思っています。

ほかにも、令和4年度に図書館システムを更新したんですけど、その際にセルフ貸出機の導

入をしました。なかなか利用者は最初のうち増えなかったんですけれども、今年度になりまして導線を考えて場所の変更をいたしました。その結果だと思われるんですけれども、児童室の近くにセルフ貸出機を置いたものですから、そちらのほうで本を借りるお子さんが非常に増え、その近くにスタンプカードのコーナーもつくりました。自然と目に入るものですから、今年になったほうがそちらの利用だとかスタンプの満了率も上がっているように感じております。

ほかにも、図書館協議会でほかの図書館さんで割と電子書籍が入っている図書館さんもあるんですけど、そちらについても去年から図書館協議会の委員さんの中で協議をしてまいりました。そちらについては、まだ調べたところの内容を委員さんに見せたんですけど、まだ課題も多いので、結果、導入のほうはしばらく見送りということになっております。

ほかにも、ここが一番大きな課題なんですけれども、高齢化が進む中、いろんな世代の方にも図書館が利用していただけるような工夫をしたいなと思いまして、今年度は9月には認知症の関係の特集だとか、あとほかにも町の重要な施策についても図書館で特集を組むなど工夫をして、町民の方にいろんなデータを知ってもらうような場をつくるという取組をしております。

これが今の現在の状況になります。

ここからは今後の図書館の事業について皆さんの御意見を伺いたいと思います。

そう言いましても、ちょっとなかなか一概に意見がというのを私も考えまして、年代別に皆さんの御意見を聞きたいと思って、次のページにまとめさせていただきました。

まず、未就園児・未就学児についての現状です。

こちらの年代については、平日働いてみえる親さんが多いため、未就園児の来館は少ないです。しかし、土・日には親子連れが非常に多く見られるため、特に最近の傾向としてはお父さんとの来館が非常に多くなっております。イベントの開催時も、お父さんが連れてくるというのが本当にここ1、2年、非常に目立つような状態になっています。

その結果だと思うんですけども、ひよこルームというところがあるんですけど、読み聞かせができるところについては、お父さんと本を読んでいるというのを特に土曜日、日曜日は多く見かけるようになりました。

取組はいろいろな形なんですけど、読み聞かせよりは今のお子さんはなかなかじつとしているので、ゲーム形式なんかの本の読み方のイベントを企画したりしております。

あと、ほかに検討していることとしては、子育て支援センターや児童センター、コロナでそちらの取組については一時ストップしていましたが、こちらの取組のほうを来年度以降、打合せをしながら始めようと思っています。

次に、小学生の方に向けての課題になりますけど、やはり土・日以外は習い事が多いために利用が、平日はプールの行き帰りに寄る方が多いです。ただ、夏休み、冬休みの長期休暇は非

常に利用が今増えております。

いろいろアンケートとかをお子さん対象にやったんですけども、やっぱりスタンプカードを導入したことによって、それを楽しみに来てくれる方が非常に増えたような気がしております。先ほども説明したように、やっぱり年間500名以上、コロナからということもあるとは思うんですけども、楽しそうにそちらのスタンプを押している姿を見ると、実施してよかったですというやっぱり私としての気持ちもあります。あと、セルフ貸出機はお子さんがセルフレジのように扱いやすいものにしたものですから、こちらはお子さんがお母さんたちの手を取って利用しているケースが非常に目立ちます。

検討していることとしましては、電子書籍、こちらのほうの検討も行ったんですけど、先ほども申したようになかなかまだ課題が多いということが分かりましたので、こちらのほうはタブレット学習との連携を含めて隨時確認していく必要があると思っております。

次に参りまして、中高生、大学生についての取組です。

こちらのほうは、テスト週間、長期休暇に学習スペースの利用が圧倒的に多いと考えております。

それについては、やっぱりフリーWi-Fiが3階の学習スペースには現在ないので、こちらの導入のほうを今年度中には行っていこうとしております。

あと、30代から50代の方です。

これに関しましては、お子さん連れでみえる方が多いせいか、統計資料のほうを見ていただくと一番多く利用していただいている。お子さんの本と自分の趣味の本とかを多く借りてもらっています。この方以外にも、特に今年に入ってから、仕事関係なのか資格関係なのか、非常にパソコンを持って学習スペースで平日も情報を集めてみえる方や、勉強してみえる方が増えております。

最後になりますけれども、60代以降の利用者の方についてですけれども、こちらの方は平日・休日を問わず、閲覧室などでは圧倒的に男性の方の利用者が多くなっております。新聞や雑誌、CD、DVDなど、多方面の利用があります。

今、図書館として一番課題になっているのは、今後この世代が非常に増えると考えられますので、何か図書館としてできることがないかなと模索しているところです。

こちらのほうで御意見をいただけたらありがたいなと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○鈴木町長 今、図書館長のほうから説明がありましたように、今後の取組をどうするかというのが一番大きい課題だと思いますが、委員の皆さん方からそれぞれ御意見をいただければ幸いだというふうに思っております。

また、分からんことがありましたら隨時御質問いただいて結構ですので、ぜひ御意見をいただきたいと思います。

いかがでしょうか。

何かありますか。どうぞ、水谷さん。

○**水谷委員** お願いします。

先ほどもひよこルームのことがお話に出てきたんですけど、清潔感があって、安心して小さいお子さんたちが寝そべったりできる空間づくりがされているなということを感じました。

スタンプカードは、20個集まつたらどういう特典があるとかってあるんですか。

○**鈴木図書館長** 一応、文房具だとかそういうもの。小学生の子には文房具がいいかなと思って、もうちょっと小さい子たちには簡単なおもちゃみたいなものを渡したり、最近は地域貢献でパチンコ屋さんのほうからお菓子が頂けるので、そちらのほうをバリエーションの中に加えて毎回違うものが何か楽しみに来ていただけるような企画をということでやり始めて。

あと、ちょっとこどもの日はダブルスタンプだったりとかということをしたりすると割と早くたまって、それが習慣づけになって楽しみに来てくれるのかなと思って続けています。

○**水谷委員** それは1枚ごとに変えるんですか。何か2枚、3枚、いっぱいだったらこれと大きな景品と交換できるよとか。

○**鈴木図書館長** 取りあえず1枚ごとで違うものでつないでいっています。

3枚たら何かという、そういうのもいいのかなと思いますけど。

○**水谷委員** ありがとうございます。

私の子供が小さい頃、夏休みとかに一緒に小学校の図書館開放日にプールのお迎えがてら一緒に行っていたんですけど、そこだけではなく、しおりを子供たちが手作りして、白黒でコピーして自分たちで色を塗ってねというふうで。ひもも自分たちでいい色のひもを選んでねとかといってそれを何か景品で、手作りならではというか、お金をかけないでということで。それをやっぱりどれだけ読んだらこれねという感じであげていたのを思い出しました。

○**鈴木図書館長** ありがとうございます。

○**鈴木町長** ほかに何か。

あまり男の人たちって図書館へ行くという習慣ってあまりなかったもんな、私たちが子供の頃。勉強ができなかったからかなと思っちゃうけど。

鈴村さん、何かありますか。

○**鈴村教育長職務代理者** すみません、ちょっとどこから言おうかなと思いながら、すみません。

今、ひよこルームに関してというか、すごくきれいになってよかったです、もっともっと広いといいのかなと。

だから、結局いろいろ言いたいことをまとめていくと、まず駐車場が少ないなとか、ちょっと外観的なところから。私も本を借りて、コロナの頃はあんまり中央公民館を利用される方がいなかつたんで駐車場はすぐ停められたんですけど、ふと返しに行きたいときに申し訳ないなと思いながらブックポストに返すことがやっぱり多々あるんですね。停められないので、ちょっと止めてブックポストに入れて帰ろうとか。

それから、ずっと疑問に思っているのが、小・中学校との連携というか、随分昔に一緒にしましたよね、結局図書館のカードとコンピューターが。うちの子たちが小学生だった頃に、小学校で借りるカードも図書館で借りるのも一緒のバーコードのはずなんだけど、変わっちゃいましたか。

○鈴木図書館長 変わっていると思います。

○鈴村教育長職務代理者 それをやめちゃいましたか。

○鈴木図書館長 学校はおそらく異なると思います。

○鈴村教育長職務代理者 同じのを持ってきて。

○鈴木図書館長 確かに、昔のお子さんは、多分入学と同時に図書カードを作られて。

○鈴村教育長職務代理者 三、四年、五、六年、2人ともが小学校にいたころなんんですけど、が一つと一掃して、みんないろいろお手伝いしたんです、お母さんたちが。バーコードを張り替えるのを。それは一緒に。

だから、ちょうど中学校ができるというのも見据えながら、全部そのまま同じカードで多分進学、進級していっているはずで、大口の図書館、中学校の図書館ができたときには何かどこでも貸し借りできるみたいな話もいろいろとあったと思うんですけども、その辺は全然町としてはやっぱり今のままなんでしょうか、現状は。

○鈴木図書館長 多分、小学校でうちのカードが使えるということは、今現在はちょっとはっきり私も分からんんですけど、逆に、持っていない子も、図書館見学で去年ぐらいから見学に来た2年生の子がそのまま本を借りたいということで、そういう取組を南さんが始めたんですけど、そのときも持っていないからってお母さんが急いで作りに見えて。見学の前に見えたので、多分そういう取組は途中で止まっているんじゃないかなと思われます。

ただ、小学校との連携に関しては、最近のところで調べ物学習のときに学校の図書館に限りがあるので、依頼を受けて、1か月ぐらい前にいろんな本を集めて司書さんが取りに来て、例えばポプラディアという図鑑形式のものはやっぱり高いので学校に1個しかないので、図書館も基本は貸さないんですけど、学校に頼まれたときは優先的に貸し出すとかということで、昨年辺りから活発に、リユースの本とかも優先的に取りに来ていただいたり、徐々にですけれども、コロナ前というか戻りつつあって、関係性も非常に近くなっていると感じています。うち

のほうとしては。

○鈴村教育長職務代理者 そうやって学校と図書館さんの連携は取れているんだけれども、一般でも中学校へ行っても図書を借りられるよとか、そういうようにならいい、なるんだったよねみたいな話をちょっと時々しているんですけども、それがなかなかならないなと思って。

○鈴木町長 館長、どうなの。できるのかできないのか。

○鈴木図書館長 多分バーコードが一緒になればいいのと、あと学校さんの協力というのも必要になってきます。

○鈴木町長 一回、模索だけしてみたら。

まず、取りあえずバーコードが使えるか使えないかというのも前は使えたという話で、今は使えるかという話もあるので、ここで一回その辺で見直しをかけてみるのもいいのかもしれないなということだと思うので。

○鈴木図書館長 分かりました。ちょっと確認を含めてまた。

○鈴木町長 今度、次回のときにはその答えを持ってくるか、もしくは大々的に宣伝するか、そこは館長に任せた。

○鈴木図書館長 はい、分かりました。

○鈴木町長 その他、どうでしょうか。

丹羽委員、いかがですか。

○丹羽委員 本当に、私も小学生の頃全然使っていなかったんですけど、ただ、うちの娘がちょうど今大学受験の時期で勉強していてというところで、なかなかフリースペースが確保しにくいというのと、遅くまでやりたいけどできないとかという話で。今何かうちの子は名古屋のほうの高校へ行っているので、帰りがてらというところで考えていくと、遅くまでやっているので布袋のところへ寄っているみたいなんです。なので、何かもうちょっと場所が。例えば、コロナのときと比べてまた変わったのかもしれないんですけど、コロナのときはやっぱり場所の確保が難しかったということと、あとは遅くまでやっているかやっていないかというところで、小学生は遅くやっているかは関係ないと思うんですけど、大学生とか高校生とかとなると、やっぱり遅くまで空いているスペースがあると何かすごく使いやすいということは言っていましたけれども。私は本当にそんな遅くまでやっていたので。

○鈴木図書館長 多分、今もちょっとうちのほうも確実にPRはしていないのであれなんですけど、3階はやっぱりちょっとあまり防犯上、死角になりやすいので私たちの目の届く5時まではなんんですけど、2階の、割と教育委員さんが行くあそこについては夜9時まで。だから、皆さんそちらに移動されたりして9時までは一応勉強できる形で、移動しながら勉強している方をちょくちょく見かけます。

○鈴木町長 教育長、どのような状況ですか。

前に、塾みたいな感じでやっていて時間的には。

○長屋教育長 今部屋を使っているのは中学生、1週間に1回。あれは5時から8時まで。

○松井生涯教育部長 7時まで。

○長屋教育長 あれ、7時まで。

○松井生涯教育部長 今は7時までです。

前は6時から8時だったんですけど、1時間前倒しをして今は5時から7時です。

毎週木曜日の限定。木曜日は学校が早く帰らせるので、先生たちが職員会議があるので下校が早いということで、今年から5時に変更しました。

○鈴木町長 ただ、この間の北九州の事件じゃないけど、どうなのという話だよね、正直言って。

安全が守れるかといったら、刺されてからじゃあ。刺されてからか何か分からんけれども、そういう意味でいうと、遅くまでやるのか、集めることがいいのかということもやっぱり少し考えないといかんのじゃないのかなと思うんだけど、そこら辺はどうなんだろうね。

○松井生涯教育部長 特に監視がいるわけでもないですし、誰か大人が見ているわけでも、平日なんかはそういうことではないので、子供さんたちの自主性に任せて今は使っていただいているのが現状ですね。

○鈴木町長 でも、そのときにマクドナルドじゃないけれども、ぽつと入ってぶすってなったなんてことになったら、これは管理体制を疑われるというか問われる可能性がないとは言えないよね。人が集まるというところになると、そこら辺の体制はどうなんだい。できるのかできないのか。

○松井生涯教育部長 今の現状だと、ちょっと難しいかもしれません。

今は、中央公民館は憩いの四季さんに鍵の管理をお願いしておりますので、憩いの四季さんの方には人は必ず1人お見えになられますけれども、常時巡回をしているわけでもないですし、ちょっとそこら辺で人を確保するということになると難しいかもしれないですね、今の現状ですと。

○鈴木町長 今の現状では。

○松井生涯教育部長 職員が結構遅くまではいますけれども。

○鈴木町長 ただ、それは警護をしているわけじゃないからね。その辺でどうなのかということにもなるんだけれども、もしよければそこら辺の御意見が皆さんからいただければ、こういうふうにしたほうがいいんじゃないのという話がいただければ。

今の状態で今のところは何も起こっていないからこのままでいいのかということもやっぱり考えていかんといかんと思うんだけど。

舟橋委員、いかがですか。

○舟橋委員 私も子供の頃に数回、たまには行っていましたけど、大人になってからはほとんど利用したことがないので全く分からぬ状態で聞きますけど、普通に何も借りなくたって入れるわけですよね。借りるときはそういう券が要るということで。

ここに書いてあるこの平均の利用者数というのは、借りた人なのか入った人か、どっちなんですか。

○鈴木図書館長 こちらは借りた人になります。

入館者数も別に、ここには入れていないんですけど、入館者数も、何も借りずに御利用なさった方も一応別にカウントはしていますけど。借りずに新聞だけ読んで帰っていく方だとかも中には。日課のように新聞だけ読んで帰っていく方、雑誌だけの新刊だけを読む方もいらっしゃいます。

○松井生涯教育部長 エレベーターのところと階段のところにセンサーがついていまして、そこを通るとカウントをしていくという機械が一応ついているんですね。それで入館者数というのは拾っているはずです。

○舟橋委員 今の防犯というか、そういう観点でいうと誰が入ったか分からぬというのは、そういうことがある可能性が。

○松井生涯教育部長 そうですね。防犯カメラも何もついていませんので。

○鈴木図書館長 3階の図書館だけは防犯カメラがついていますけど。

○松井生涯教育部長 一般室と児童室。

○鈴木図書館長 ロビーもついています。だから、3階部分だけは防犯カメラが実はついていて、防犯カメラ作動中とは書いてあるんですけど、2階と1階はついていないので。

○舟橋委員 もしそういうことが心配になるのであれば、何かそこら辺を対策されたほうがいいのかなとは思います。

○鈴木町長 総務部長、どうやね。今の。

○水野総務部長 今、防犯カメラは幾らでもないものですから、本当に数万円程度からつけられるものですから、2階を子供が遅くまで使うということであれば、設置を考えて良いと思います。

○鈴木町長 1階、2階、入り口とか、ああいうところにちょっと防犯カメラは設置したほうがいいような気がするんだけど。

○水野総務部長 そう思います。

○鈴木町長 そうですね。

取りあえず、今の安全の確保という、ちょっと題材からずれてしまっているかもしれないん

だけど、安全の確保という面からいうと例えば入り口だとか、それから1階のフロアというかロビーみたいなところだとか、それから2階だとか勉強しているところだとか、そういうところにやっぱり。どこでというか、誰につけてもらうんだ。勝手につけるのか。

○松井生涯教育部長 そう難しいことでは多分ないと思います。電気屋さんにお願いするとか。

○鈴木町長 角度的にどうなのかというような、全体が映るようにというような形でやっていくという形で、今の北九州のそういうのの一応何といったらいいのかな、対応というような形でそれを皆さんがそれでいいということであれば総務のほうでやってくれると思うので、いかがでしょうかね。

それか、緊急があったときにベルが鳴るやつとか。

○松井生涯教育部長 小学生の子は1年生になるときに防犯ベルを頂けるので持っている。ランドセルについている子が多いので、ふだん持ち歩く子はいないと思いますけど。防犯ベルですか。

○鈴木図書館長 多分危険があったときに押してという意味のですよね。

○鈴木町長 例えば、極端なことを言うなら襲われそうになったりとかしたときはそれを押してというのをつけおいたら、周りに。どこかにつながるんじゃなくて、そこで鳴ってくれればいいんだよね。びっくりして、お互いにびっくりするので何があったという話になるから、非常ベルみたいなものだからなというのがあると思うんだけど、そういうのも少し考えたほうがいいのかもしれないなと思うんだけど。

どうぞ。

○水谷委員 そうですね、防犯カメラとかつけるというのも一案だと思うんですけど、それによって早く犯人が捕まるとか、そういうことにつながっていくのかもしれないんですけど、そんな10秒もたたない間にぶすっと刺されてしまったら、もうそれはそれでおしまいなので。どうでしょうか。

もちろん、防犯カメラをつけてもらう……。

○鈴木町長 だから、カメラを設置してありますという抑止力を利用する以外ないのかなという。

○水谷委員 マクドナルドにもついていたと思いますけど。

○鈴木町長 だけど、あれは書いていないでしょう、多分。見えるところに抑止力的な形での。

だからどうなのかねという、それでも捕まらないのは捕まらんのだけど。

○水谷委員 捕まりました。

○鈴木町長 捕まったの。ああ、そう。

○鈴木図書館長 昼にニュースで。

○鈴木町長 昼にニュース、テレビ見ていないから分かんない。

そうなの、捕まったんだ。

○松井生涯教育部長 43歳の男性としか。

○鈴木図書館長 近所の人だということですけど、名前も出ていましたつけ。

○松井生涯教育部長 そこまでは分からぬ。車のラジオで聞いただけなので。

○鈴木図書館長 近所の人だったというのが。

○鈴木町長 そうなの。まあ、捕まれば捕まったでということなんだけど。

今ここでどうするということを決めることができないというのであれば、教育部局とそれから今の総務部局で一度対応としてどれがいいのかというのを、例えば人を配置するのか、例えばだよ。夜のその間だけ何時までおってくれという人を用意するのかということも考えていかないといかんのかもしれないかなという。

企業がやっているところは別にして、どういう方法が、もちろん防犯カメラをつけるなり、その辺のところの対応に関しては、一度部局同士で話をしてくれたほうがいいと思う。予算のこともあるし、そういうところから考えていくとそのほうがいいのかなということで、一回いいのかな。

どうぞ。

○鈴村教育長職務代理者 今、図書館の話題から結局中央公民館、今、全体のお話なんですけれども、ほかにも施設がありまして、ほほえみなんかで勉強しているお子さんたちもいるし、その辺も含めて全部御検討いただけたらなと。

私ごとに半分なるんですけども、それこそ今日、本日木曜日にふれあいの森をボランティア団体でお借りしております、そこも夜、本来5時のところをちょっと6時までお借りして、私たちおばちゃんたちが施錠して帰ってくるんですけど、その以前に子供たちは車で送っているんですが、あの辺も暗くてちょっと安全面を考えるとというと、ほかのグラウンドや何か、今いい機会なので、町の施設全体のその辺の安全点検をぜひお願ひしたいなと思いました。

○鈴木町長 一度点検というか、一概にできるかできないかというのもあるので、一度ゆっくり、ゆっくりとはいかないんだけど、早急に一つ一つの検討をしていく話だよね。

切りがなくなっちまうんだよな、そうすると。

○水野総務部長 利用が、例えば夜9時まで小学生の子がそこで勉強して1人でうちへ帰ること自体に問題がないのかというほうが僕は問題だと思うんですけど。

自由に使っていいよといって、小学生の子供がそこで夜9時まで使って1人でうちへ帰っていく。その利用形態そのもののほうが、ちょっとええっと今聞いて思ったんですけど。

例えば利用を制限するとか……。

○鈴木図書館長 現状としては、小学生が9時までというのはまずないです、見ていて。大人に

限られますし、最近の状況の中央公民館を見ていると、送ってきている親さんがすごく増えているのは勉強でも増えています。なので、夏休みでも親さんが送ってきて迎えに来ているという姿のほうが、7割以上そういう形なので。

○鈴木町長 何で。

○鈴木図書館長 分かんないですよ。自転車で来られる。何でだろうと私も逆に思うくらいなので。

○松井生涯教育部長 自転車置場の自転車は少ないです。利用者はいますけど。

○鈴木図書館長 だから、小学生は夏休みぐらい……。

○鈴村教育長職務代理者 私だって送り迎えしていました。

○鈴木町長 何で。

○鈴村教育長職務代理者 心配なのでね。

○水谷委員 切りがないんですけど、そこの施設に行くまでの道中に何かあったらとか。昼間でも不審者はいますし、だから本当に心配しだしたら切りがないんですよ。昼間、道路でぶすつとやられるということもあるかもしれないし、夜だけに限らず。

○鈴木町長 立っておったら車がぶつかってくる可能性も無きにしも非ずとなると。

できる範囲内でという、ひとつ少しずつでも考えながら。今年はこれ、来年はこれという形で、一遍にやることは不可能だと思うので、取りあえずそういうところから一回見直しておいてくれると図書館の利用者も増えるのではないかなど、もっと増えるんじゃないのかなということだと思いますので。

あと、これだけは言っておかなきゃという方は、どなたかお見えになりますか。

○鈴村教育長職務代理者 さっきのちょっとひよこルームの広さとか、そういったところをちょっと言い忘れたというか。やっぱり小さい、本当にまだ保育園にも通わない子供さんを持っているお母さんたちが行く場所が意外と大口町はあまりなくて、児童センターとかもあるんですけども、ほかの市町に比べるとちょっと少ないというか、利用しづらいというか。

本当にもっと、今子供の貸し出しているスペースぐらいがというか、南小の図書館のようなスペースだったらずうつといられるのになと。親子でもっと来たい人がいると思うんですけど、ひよこルームもきれいだけれどもあれだけのスペースだしという。

さっきイベントもコロナが開けて少し増えてきたんですけど、私もほかで読み聞かせの団体をやっているんですが、コロナ以前は年に1回イベント事をやらせていただいたんですね。今そういったのはちょっとまだ全部は復活してないですね。なので、どんどんそれを広めてほしいことと、あとそういった各小・中学校、小学校なんかで読み聞かせのグループがあるのでその人たち向けとか、全然それ以外の人たちに向けても、以前、紙芝居の講座だとかというよう

な、そういった講座もいろいろあったんですけど、そういうのを復活していただきたいかなと思います。

あと、さっきの年齢層の高い方の今後って言われたけれども、いろんなところで最近ブックトークみたいなのが開かれているので、そういったのも検討されてはどうかなと思っていました。

○鈴木町長 ありがとうございます。

やれそうかい。

○鈴木図書館長 やれるところからやっていきます。

特に、年齢層の高いところの案は、本当にちょっとどうしようかなと思っていたところなので、ありがとうございます。

○鈴木町長 集まれるスペースというか、ひよこルームってどれぐらいあるんだろう、そうなると。

○松井生涯教育部長 面積的にはこの部屋の6分の1ぐらい。8畳か10畳ぐらいの部屋ですね。

もともと倉庫か何かだったのかな。

○鈴木教育長職務代理者 もともと一応ああいうスペースでしたよね、ちょっと前から。

○松井生涯教育部長 もともとあったんだっけ、耐震をやる前って。

○鈴木図書館長 多分、シャワールームくらいだったと誰かに聞いたような。

○松井生涯教育部長 平成28年に中央公民館を改修したときに新しく部屋を造っていただいたんですね、あのひよこルームというのは。そういうところがあるといいねということで造ってはいただいたんですけど。

○鈴木図書館長 今後、多分来年に向けてなんですが、やっぱり一度読み聞かせとかもやったんですけど、意外と、こここのところ子育て団体さんとお話する機会も何度かあるので聞くと、やっぱり集まれるところが確かにないというのもあるかもしれないんですけど、集まる前に、結構働きに出るお母さんも増えてしまって形態が変わってきたので、子育て支援センターに来るお母さんの数も前より減って、子供を預けて働きに出ることも増えてきたというお話なので、そちらのほうに行ける範囲で来年は行く計画をこども課とは連携して話し合いをして進めているので、出向いた形でのアプローチを考えていこうかなと、来年度は。もうその辺りは視野に入れて話し合いは進めています。

○鈴木町長 あと、ほかに御意見ございますか。

部局としてはやれるところからやっていかなきやいかんということだよね。

ただ、ニーズがどんどん変わっていくというところも、今の館長の話でいくとそういうところもあるので、そこら辺りは皆さんが持つてみえるアンテナでこういうのがいいんじゃないの

という話は絶えず逐次館長のほうに言っていただければ、それはそれなりに対応はしてくれるかなというふうに期待はしていますので、よろしくお願ひをしたいというふうに思っております。

質問、ほかに。

○長屋教育長 ライトノベルってどのようなものですか。読んだことがないし。

○鈴木図書館長 教育長さんが読む感じではないけど、ちょっと砕けた、簡単に書かれた、割と何というんですかね。

○松井生涯教育部長 メルヘンチックなというか、ちょっとラブストーリーというか。

○鈴木図書館長 ちょっと過激な内容なところもあるんですけど、それでもお子さんが来てくれるなら、堅い本を私も中学時代に読むかというとあまり読んでいなかつたので、そういうのにはまる子はもうずっとそればかり読んでいるんです。それで結構絵は、ぱっと見た表面は漫画みたいです。

○長屋教育長 物すごく出版されて、いろんな種類があると。

○鈴木図書館長 全部買わいたら大変なぐらい出版されています。すごいペースで新刊も出ますし。

○長屋教育長 というのは、図書館協議会のアンケート調査によると、不読者、高等学校の生徒が1か月間本に接したことがないというのが48%という数字を見て、2人に1人は一切本と関係ない生活をしているというふうに考えられるわけなので、そういう子たちに図書館とか本を興味関心を持たせるためには夏目漱石とかそんなやつを置いておったって読まへんし、どうしたものかなと。

○鈴木図書館長 そうですよね。それでライトノベルという、そういうちょっと砕けたもので。それにはまっている子は本当にずっとそればかり相当なペースで読んでいるので、ちゃんとした図書館だとあまり置いていないところがあるのかもしれない。ちょっと堅い本ではないので。

ですけど、教育長が言われたようにきっかけになって、とにかく来てくれればいいかなと思って。そのコーナーもお子さんだけの部屋だとちょっと入りづらいと思ったので、ちょっと外のコーナーに行って手に取りやすいところにしたんですけど。

○鈴木町長 ほかにどうでしょうか。

○水谷委員 工夫されているところなんですが、先日も谷川俊太郎さんの追悼コーナーとかとすぐにつくっていただけたみたいで、そういうところからみんな関心、特集コーナーがあればみんな関心を持って、次々にその方に関する本を読んでいかれるかなと思ったので、とてもいいなと思って。

雰囲気も、司書さんたちが手作りして季節に合った環境を温かい感じでつくられていて、いいなと思いました。

○鈴木町長 あとはどうでしょうか、皆さんの御意見。

男性チームからはあまり質問が出てきませんが、よろしいですか。

(挙手する者なし)

○鈴木町長 じゃあ、そろそろ意見も出尽くしたということで、この対処につきましては各部局のほうで話し合っていただいて、また改善できる部分は改善をしていくというような形で進めていきたいというふうに思っております。

これで何もないということですので、この場、一応議長の座は下ろさせていただくという形にさせていただきたいと思います。

御協力いただきまして、ありがとうございました。

じゃあ、あとはそちらのほうで、事務局のほうで進めていただきますようお願いをいたします。

5. その他

○稻垣政策推進課長 ありがとうございました。

続きまして、最後、その他のほうへ進みます。

何かございましたら御発言をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

特によろしいでしょうか。

(挙手する者なし)

6. 閉会

○稻垣政策推進課長 はい、ありがとうございます。

以上をもちまして令和6年度大口町総合教育会議を閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

(午後 2時20分)